

(第2号様式)

石川第 1844号
令和7年 2月27日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立石川高等学校
校長 宇地原 光
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月18日	場所	石川高等学校	出席 状況	3名
第2回	日時	令和6年12月12日	場所	石川高等学校	出席 状況	3名
第3回	日時	令和7年2月2日	場所	石川高等学校	出席 状況	2名

2 学校評議員に求めた事項

- ・学籍異動に関すること
- ・基本的生活習慣や就学姿勢に関すること
- ・進路実現に関する地域特性等に関すること
- ・個々の背景を踏まえた生活支援や教育相談等に関すること

3 学校評議員の意見

- ・特別教育支援員等の支援員の種類や支援内容の充実を期待したい。
- ・教育実践の成果はHPやSNS等を活用して積極的に発信した方が良い。
- ・地域教材や人材等の地域資源を活用した教育実践の充実を促進すること。
- ・校内美化に努めていることが分かる。より良い環境整備は教育効果を高めることが期待出来る。
- ・勤怠や成績など二極化傾向が見て取れる。ヤングケラー等があれば支援を充実してほしい。
- ・進路決定率は近年では95%以上を達成しており、更なる決定率の向上を目指して、楽しく負担のない支援を継続してほしい。

4 学校運営に反映した事項

- ・多層的な面談を軸として個々の就学課題を追求し、個別最適な支援の充実に努める。
- ・様々な事柄に自分事として関わりが持てるよう声掛けや学習等の工夫を図り、主体的な学びに繋がる教育実践の充実を図ること。
- ・問題行動を予防し早期解決を図るため、個々の実態を踏まえて就学の継続に繋げ、系統の特性を活かした教育の充実を図った。

5 課題その他

- ①2つの系統を踏まえ、各々の系統特性に柔軟に対応する教育の更なる充実。
- ②主体的な学びを伸長・充実させるため、学習・総探・行事を3本柱とした教育実践の総合連携体制を図る。
- ③多様な背景に最適な手立てを講じ、充実した就学に繋げる体験(作業)的授業実践を図る校内体制の充実。
- ④発達障害や愛着障害等の特性に対する深い理解とそれを踏まえた協働学習の充実促進。